

### 三松小児童と保護者ら地元企業を見学

6月21日、三松小3年2組の児童と保護者ら80人が、ドイツ産モミの木の加工・販売を行う前田産業（前田弘志社長＝細野）の工場を見学しました。社会教育の一環にと保護者が企画。参加者は、丸太を下ろす作業の見学や、加工品の制作などを体験しました。



### 教諭間で優れた指導方法や技術を共有

6月24日、各小・中学校で質の高い授業を行う教諭ら29人に「学力アップリーダー」の委嘱が行われました。今後、各学校で授業の公開や教材の紹介などを行い、教諭一人一人の授業力を向上させ、児童生徒の学力を伸ばす取り組みを進めていきます。



### 高山地区の泥んこバレーで交流深める

6月28日、高山地区で泥んこバレー大会がありました。地区を盛り上げようと集まった住民らで構成された、高山やろう会が主催で、今年が9回目の開催。11チーム44人が参加し、選手らは泥まみれになりながら熱戦を繰り広げ、交流を深めました。



### 「おんだんかるた」で温暖化問題学ぶ

7月12日、環境教育団体ECO社員ズ主催の環境学習講座がありました。24人が参加し、「STOP！おんだんかるた」や紙芝居などで温暖化問題を学習。津郷初美代表は、「楽しみながら温暖化防止が意識できるので、これからも普及していきたい」と話していました。



### 法人化で更なる発展を 農事組合法人「のじり」設立

野尻町5区・6区の両営農組合の受託組織（三ヶ野山受託組織）が法人化し、7月14日、農事組合法人「のじり」（東原安雄代表理事・組合員26人）の設立総会が、道の駅ゆ〜ぱるのじりで開かれました。JAこばやし管内での農事組合法人の設立は、6年ぶりです。4例目となります。



祝賀会で東原代表理事は「法人化によるメリットを生かし、組織の発展をめざして活動を更に充実させていきたい」とあいさつしました

### チョウザメご当地グルメ 新たにゆ〜ぱるのじりで販売

7月15日、ハーメックのじり株式会社がチョウザメ料理推進協議会に新規加入し、ご当地グルメ「小林チョウザメにぎり膳」提供する認定書を送られました。ご当地グルメの提供店舗はこれで5店舗。9月上旬ごろから、道の駅ゆ〜ぱるのじり内のレストラン「味彩」で提供されます。



同社の木脇一弘支配人は、「道の駅の特性を生かし、多くの県外客などに食べてもらいPRしていきたい」と話していました



深澤尚志代表取締役社長は、「ご当地アイテム開発や、雇用創出などで、市の期待以上に貢献していきたい」とあいさつしました

### 工場建設で新規雇用20人 (株)東京ミレニアムと立地協定

6月26日、市は株式会社東京ミレニアムと企業立地協定を結びました。同社は、近年、東京を中心に脚光を浴びているポップコーン製造を行う会社で、5月に市内に本社を設立。今後、工場を設立するとともに、平成26年度に11人、平成30年度までに20人の新規雇用を予定しています。



少年補導職員の質問に、我先にと手を上げ答える児童。小林小学校では、毎年4年生を対象に非行防止教室が行われています

### 「誘われてもきちんと断って」 小林小学校で非行防止教室

7月3日、小林小学校で4年生（全3組105人）を対象に、非行防止教室が行われました。教室は万引きをテーマに、都城警察署の少年補導職員2人も参加。友だちに万引きを強要されたときの対処などを問いつけ、「関わる全ての人が悲しむ犯罪。しっかり考えて行動して」と呼びかけました。

### 世界一のパティシエら講演 野尻中で「黄金の3日間」

6月25日から27日、野尻中学校で「黄金の3日間」と題し、外部講師による出前授業や講演が行われました。25日は、洋菓子の世界大会優勝者の芋生玲子さん（＝宮崎市）が、夢をテーマに講演。「限界までやらないと見えてこない世界もある。まずは諦めないで」とエールを贈りました。



黄金の3日間では、芋生さんの他、アナウンサー、高校教師、スポーツ関係者、携帯電話事業者らが講師として授業を行いました

### 地域のつながりで犯罪を防止 社会を明るくする運動始まる

7月1日、第64回「社会を明るくする運動」強調月間が全国でスタートし、市役所玄関前で法務大臣メッセージ伝達式が行われました。小林地区保護司会窪田英二会長がメッセージを代読し、市長へ伝達。非行や犯罪防止のために、地域のつながりが重要であることを再確認しました。



伝達式後は、市内商店などでキャンペーンを実施。うちわやティッシュを配り、犯罪や非行のない地域づくりの啓発を行いました